

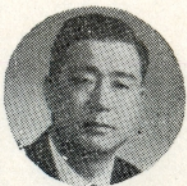
# 市政ニュース

昭和47年7月15日 284号  
毎月 1日・15日発行 一部4円  
発行所 五所川原市役所



夏！  
それは太陽と水の饗宴である  
きらきら燃える太陽  
光りを散らしてきらめく水  
しぶきをあげるカッパの群像  
どっと歓声が湧く  
笑いがこぼれる  
太陽も水も  
みんなカッパの友達だ  
未来への躍動がいつか知らず  
たくましくそこに育っている  
限らない魅力を秘めて……

## 全国市長会で採択 ほ場整備の通年施行 当市提案・制度化へ

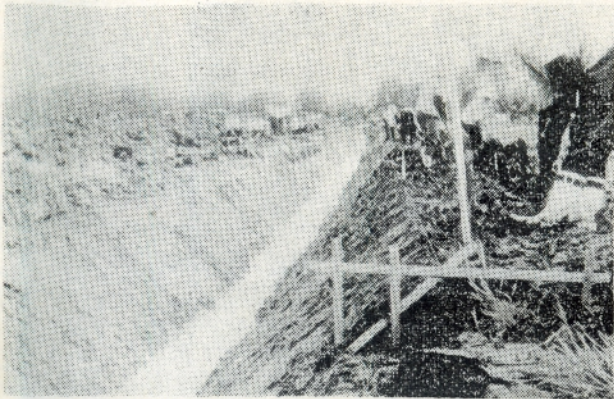


佐々木市長

昭和四十六年度から始まった米生産調整(減反)で行なわれている「圃場整備事業の通年施行方式」を半恒久制度にし、と佐々木市長から東北市長会を通じて提案された同案件が六月二十九日東京で開かれた全国市長会で採択された。

ざし全国レベルの運動になり、今後は国の関係省庁や国会議員に対し強力な政治運動が展開されます。通年施行というのは、土地改良事業(区画整理等)を夏に行なう方法で、国では昭和四十六年度からの米

採択されたことにより通年施行の半恒久制度化をめぐ



米生産調整の奨励補助金もてる区画整理事工(梅田で)

生産調整(減反)と並行して行なう場合は、単純休耕(稲の作付を休み、何もつけない)と同額の奨励補助金を出しています。昭和四十六年度(四十七年度も同額)は、基準反収六百キロの場合(一ヘクタール)十アール当たり単純休耕と同じ四万八百円の奨励補助金がでています。

ところが、この通年施行の奨励補助金は、単純休耕と同じく四十六年度から四十八年度までの三カ年であるため、四十七年度から向こう五カ年に集中する市の圃場整備事業が心配されて

### 黒星病広がる

## 薬剤散布を急げ

りんごの大敵「黒星病」は、市内でさらに広がりがり七月五日現在濃密、準濃密防除地区あわせて全栽培面積の七九・二四%にあたる七百七十五畝に達しております。

また蔓延の原因ともなる「放任園」は、市内に十一・一五畝もあり七月五日までにこのうち四・六七畝の六百二十五本が切り倒されています。

います。

このため佐々木市長は①圃場整備事業の通年施行は東北地方の気象条件から事業を進めるうえで欠くことができないものであり、②米の需給も当面調整(生産)措置を不要とする情勢も考えられない、③食糧供給基地としての地域性から今後圃場整備事業を欠かせないなどから三カ年の米生産調整(単純休耕)の助成期間後も実質的にそれと同額の助成措置を継続実施して、通年施行が抵抗なく行なえるよう制度化を呼びかけたものです。

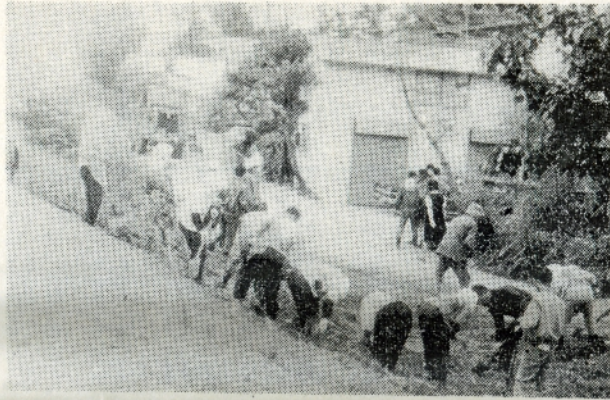
まだ発生していない園地は、高接した枝を重点に総点検し早期発見に努めるとともに、すでに発生した園地は他地区への蔓延や果実への被害をくいとするため七月中、下旬は有機銅(四〇%)水和剤六百倍液、有機銅(三〇%)キャブタン(二〇%)水和剤五百倍液を二回散布し、変更後の防除暦をよくみて徹底した防除を行なってください。

# 道路愛護運動

## 小曲から始まる

地元民の自主的な奉仕活動で行なっている市の道路愛護運動は、八年目をむかえことしも六月三十日の小曲を皮切りに、ひと月にわたって展開されています。ことし最初に行なわれた小曲では、九十人の地元民がスコップを手前に午前五時三十分から参加し主婦や男

の人に混っておばあさんの元気な姿も見えました。一方市建設課からは、トラックやショベルローダーなどの車両七台と十三人の職員が、指揮と運搬係の側面援護です。激励にかけつけた佐々木市長は「良い道路づくりがんばってください」と励まし自らスコップ



道路整備に汗を流す部落民(小曲で)

ブをとって、部落民と一体となりトラックからおろされる碎石や通し粕を路面に敷いてゆきました。この朝、部落の通りに敷かれた碎石や通し粕は約九十立方尺で、きれいに敷かれた路面を見て部落民は「これからも手入れして行きましょう」と話しあっていました

## あなたが開く あなたの教室

市中央公民館が昨年六月から開設している「あなたの教室」は活発なグループ活動を反映し大いに利用されています。

「あなたの教室」は、これまでの人を集めて与えることから、出かけていって応じるという、皆さんが開く教室です。

例えばある団体から「○教室」を開きたい、という要望があれば、いつでも担当の職員や指導員、講師を派遣し皆さんの運営計画にしたがって開かれます。

昨年八月からことし三月末までの八カ月間にスポーツ交歓会や卓球などの各種スポーツから生花、舞踊などの教室が二十四種目におたつて百六十六回開かれています。この間「あなたの教室」に参加した市民はのべ五千九百二十七人に達し派遣された講師は一般と市

職員を合わせ百九十六人ありました。このなかには、結婚式の司会を依頼されたり、フラワーデザインの集いから礼法や着物の着付など活発なグループ活動を反映し多彩にわたっています。皆さんのなかで、ぜひこれから実施したいもの、習いたいものがありましたら人員の多少にかかわらず市中央公民館、電話⑤二三五二番へ一報ください。うちあわせにより必要に応じて講師を派遣します。



手芸教室もそのひとつ

## 県民体育大会 出場者を募集

第二十七回市町村対抗県民体育大会は、八月の二十六、二十七の両日、青森市で、県体育協会、県教育委員会、青森市教育委員会主催で行なわれますので、出場希望者は、七月二十日まで五所川原市教育委員会太陽と雪の課(電話⑤二二一一番、内線三五五番)へお申し込みください。種目は、陸上競技、軟式野球、排球、卓球、籠球、剣道、相撲、バドミントン、ウエイトリフティング、ソフトボール、水泳です。

## 農事情報

# 大豆の油虫発生

これまで、北海道だけに発生が認められていた「大豆矮化病」が、昨年本県にも発生していることが確認され大豆の安定した生産をはかるうえで心配されます

この病気は、保毒ジャガイモヒゲナガアブラムシのイモヒゲナガアブラムシの媒介によって発生するのでアブラムシ全般を対象に薬剤を散布してください。昨年発生した地域は再発生を予測して注意するほかジャガイモヒゲナガアブラムシは、マメ科牧草であるクローバー類に寄生(越冬)

この病気は、保毒ジャガイモヒゲナガアブラムシの媒介によって発生するのでアブラムシ全般を対象に薬剤を散布してください。昨年発生した地域は再発生を予測して注意するほかジャガイモヒゲナガアブラムシは、マメ科牧草であるクローバー類に寄生(越冬)

## 「保育困難な」 「赤ちゃんを」

市内上平井町にある「つばみ乳児院」は児童福祉法による乳児施設ですが、現在収容定員十四人のうち四人が欠員となっています。当院は、一歳未満の新生児から事情によって満二歳までの乳幼児も入院できますので、次に該当する場合は市福祉事務所に相談ください。

▽両親の病氣や死亡のため養育ができない赤ちゃん  
▽母親が離婚したり、親が伝染病などの病氣で感染のおそれがある赤ちゃん  
▽身よりのない赤ちゃん

## 生活環境パトロール本部

住みよい

環境づくり

でんわ ⑤1414

# 産業廃棄物 処理の責任を明確化 処理条例を制定

んの理解ある協力をお願いします。

## ▽処理区域が拡大されます

これまで、特別清掃地域である旧市内だけを「ごみ」処理の対象としたが、新市域も新しく対象となり処理区域が拡大されました。しかし新市域は当面は家庭で処理の困難な不燃物の収集から着手し、段階的に一般廃棄物も取り扱います。

## ▽廃棄物の定義及び区分：第2条

「廃棄物」とはごみ、粗大ごみ、燃えがら、汚でい廃油、ふん尿、腐酸、廃アルカリ、動物の死体、その他不用品をいいます。

廃棄物を、事業活動に伴って生ずる「産業廃棄物」とそれ以外の「家庭廃棄物」に区分されます。

## ▽事業者の責任：第3条

産業廃棄物の処理については、事業者の処理責任が明確にされ、自らの責任で適正に処理されること。

製品、容器等については、誇大包装をやめ、下取りによ

る回収、容器の再利用による販売など、その廃棄物化を少なくするよう措置を講ずる必要があります。

## ▽市民の協力義務：第9条

簡単に処分できる「ごみ」は自ら処理に努め、自ら処理できない「ごみ」は可燃物と不燃物に分離し、別の容器に収納し所定の場所に集める等、市の指示する方法に従うこととする。

容器には、有毒性、危険性、悪臭、その他市の行なう処理作業に支障をおよぼすおそれのあるものを混入しないこと。

## ▽清潔の保持：第5条

土地または建物の占有者は、当該地に面する歩道、側溝の清掃を行なう等、その清潔の保持に努めること遺棄された動物の死体を

発見した者は、速やかに市長に届け出ること。(ほか)に第5条では工事施行者の工事現場周辺の整理、公衆場所でのチラシ等の散乱防止、大掃除の実施等です)

## ▽不法投棄の禁止：第10条

一般廃棄物は、町内会、部落会が選定した収集場所へ集め道路、下水路、河川その他公共の場所への投棄は罰せられます。

産業廃棄物は、可燃物は高瀬焼却場、不燃物は前田野目に指定した埋立地以外への投棄は罰せられます。

## 青年の主張

### 横田さん講演

市の「国連青少年の家」では、四十六年度NHK「青年の主張」全国大会で最優秀賞を受けた横田邦子さん(東京都、学生)の講演会を八月五日(土)午後二時から市民文化会館で開きます。

横田さんは、外国での生活にも経験があり、貴重なお話を聴講できると思いますので、とくに高校生、青年の参加をお待ちします。なお講演終了後は参加者との意見交換も行ないます。

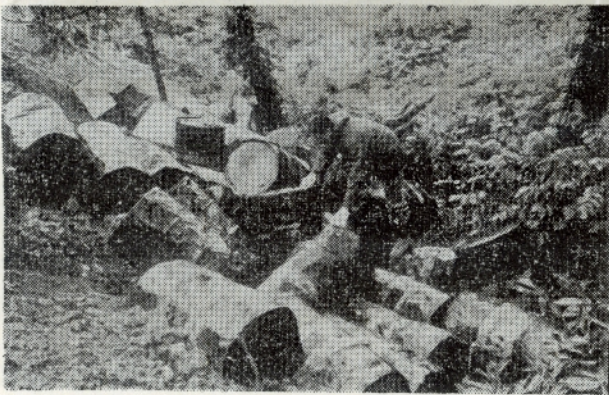
### 県サイクル会長

### に佐々木市長

県サイクリング協会は、先ほど青森市の教育会館で総会を開きましたが、席上市教育委員会と市サイクリング協会が行なっている市民サイクリング運動が高く評価されました。

その結果、県サイクリング協会の役員には、佐々木市長以下市内の関係者が多数選ばれました。

▽会長、佐々木栄造▽副会長、成田不二雄▽専務理事、三國日出夫▽理事、境谷正一、小山内育義、佐々木清広、浜田義徳、沢田武美▽事務局長、神正良



不法に乗てられたドラムカン(前田野目の山林で)

## 「野外植物」に親しむ会

第五回「五所川原市民野外植物に親しむ会」は、七月十八日(火)午後五時から行ないます。参加する人は、メモ帳を準備し乾橋下にお集まりください。なお雨天でも決行します。

## 補充民生委員

### 10名に辞令交付

市ではこのほど民生委員(児童委員)の新任、後任の補充を行ない、次の十人に辞令を交付しました。

任用期間は昭和四十六年十二月一日か

ら三カ年です。カッコ内は担当区です▽新任 飛鳥忠昭(松島町三、四丁目) 斎藤万之丞(松島町七、八丁目) 小山末治(東町) 山川芳雄(新宮) 須藤とし(鳥森) 松沢寛(新宮団地) 新谷良一(尻無太刀打、桃崎) 一戸賢盛(広田) 竹谷一吉(梅田) 工藤博男(前田野目)

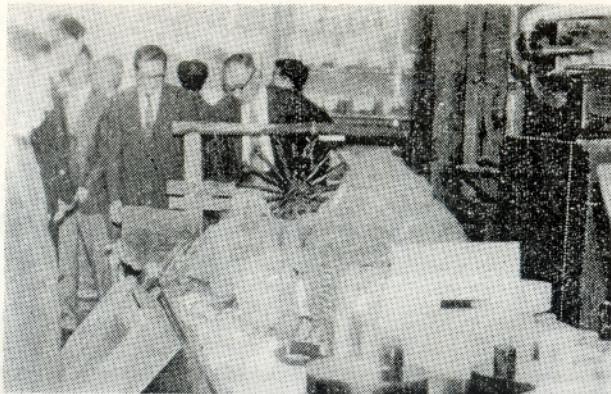
なつかしい

# 民芸品がいっぱい

## 市立「郷土館」開く

「私たちの郷土五所川原の歩みをもう一度みんなで見なおそう」と市立「郷土館」が七月一日開館しました。

市立「郷土館」というのは、五所川原周辺の自然や歴史、産業、文化の移り変わりを示す資料を保存し展示するのが目的です。私たちの祖先の姿をふりかえり未来を考え市民ひとりひと



なつかしい民具も展示されています

りの財産として永久に残さず、総展示数は約九百点です。

展示室の一角には、いろいろに薪をたい



「灯」のうつりかわりコーナーもあります

たころ、炬の天井にさげた「ひだな」やなべ、かまをかける「かぎのはな」、それに炬端で薪を割る「まつわり」、薪のかわりにたい「さるけ」も当時そっくりに展示しています。また「あんどん」から「ちようちん」「ランプ」と明りの歴史を表わす「灯の

### 野草の花だより

▽キバナノカワラマツバ (アカネ科)。河原とか

原野で普通に見ることのできる多年草です。

黄色い花を密につけて群れ咲くさまは見事です。葉は細く十枚ぐらい輪生しています。和名の由来は松葉のように細い葉

をつけ河原に生えていることと、黄色い花を咲かせるところによりです。

▽カワラナデシコ(ナデシコ科)。古い時代に単に「ナデシコ」と呼

### 津軽フラワーセンター

(7月中旬～7月下旬)

ばれていました。秋の七草のひとつとして親しまれていた植物でもありません。河原などに多く見られるところから和名がつ

きました。ピンクの花がきれいな多年草です。

▽ウツボグサ(シソ科)。津軽ではホイドノマグラと呼んで親しんでいます。花穂が矢を入れる

靱(うつぼ)に似ているところから和名がつけられました

た。日あたりのよい草地や道ばたなどに多く生える多年草です。

### 高校生の税の作文募集

- △テーマ 税に関するもの
- △応募資格 高校生
- △応募数と字数 1人1編 (3,000字以内)
- △しめきり 9月5日(火)
- △提出先 五所川原税務署
- △表彰 優秀作品には賞状記念品を贈呈

### 映画の会

#### 2回目は中止

七月二十二日(土)に開く予定だった「明日を開く映画の会」は会場の都合により中止となりました。八月の日程は一日付の市政ニュースに掲載します。

### 追加免税

#### ができます

りんごの「黒星病」で薬剤散布の回数が増加し動力用燃料として使用される軽油がこれまでの免税申請計画以上に使用される場合は追加免税措置ができるようになっていきます。追加免税を希望される生産者、共同防除組合は五所川原県税事務所で手続きをしてください。

## 市政ダイヤル

その日の

行事や予定は

でんわ ⑤ 4321